

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
03105	医療費適正化事業	住民税務課	国保医療係	松井 夕起子	今福 孝枝
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 10 日	連絡先(内線)	2103
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分	事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0338	国民健康保険事務		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A			
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	2章	安らぎと潤いのある社会	
		節 (コード選択)	3節	社会保障を充実し健やかな暮らしを守る	
		項[基本施策] (コード選択)	232	国民健康保険・老人保険制度の充実	
主な取り組み (コード選択)		2322	医療費の適正化		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明 <input type="checkbox"/> 終期設定なし			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

国民健康保険加入者

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

誰もが安心して医療を受けることができる医療制度を堅持し続けていくため。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	医療費が過度に増大しないために医療費の現状を医療費通知、広報、パンフレット等で周知。
2	後発医薬品の促進
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)	
①	指標名	医療費通知の発行	回	6	6	6	1.00	6
	説明	加入者宛に受診記録やかかった医療費を確認してもらい、多受診・頻回受診等の削減促進	目標値設定の根拠	国保連データに基づき上伊那広域で作成				
②	指標名	国保証発行時に個別パンフレットの送付	回	1	1	1	1.00	1
	説明	国保制度や、医療費、後発医薬品等の周知	目標値設定の根拠	年1回の国保証切替時が効果的				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)	
①	指標名	国保一人あたり医療費(国保連「信濃の国保」調べ)	円	285,162	291,140	300,000	0.97	291,140
	説明	県内国保保険者別医療費	目標値設定の根拠	一人あたりの医療費の推移を見る				
②	指標名	国民健康保険給付状況	千円	1,418,074	1,475,107	1,450,000	1.02	1,475,107
	説明	保険給付費(医療給付費+高額療養費)	目標値設定の根拠	給付金額から医療費の推移を見る				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	1,364,851	1,410,863	1,458,149	1,457,811						
対前年比		%		103.4	103.4	100						
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			685,112	650,332	700,000	700,000						
B) 一般財源(税金)			679,739	760,531	758,149	757,811						
①事業費		(千円)	1,356,479	1,402,824	1,450,000	1,450,000						
対前年比		%		103.4	103.4	100						
②人件費の概算		(千円)	8,372	8,039	8,149	7,811						
対前年比		%		96	101.4	95.9						
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
			H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/		
町職員(正規職員)			0.02 0.02 0.02 0.04 0.04 0.04	0.00 0.00 0.00	1.20 1.20 1.20	1.30 1.26 1.26 1.26	8,372	8,039	8,149	7,811		
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート						0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった 医療費の増加に歯止めがかからず、国保会計を圧迫させている。 D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり 医療費の伸びが大きく、国保税率の改正が必要。H23から改正予定。 D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している 国保の住民説明会等において把握 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

医療費の適正化については、医療費通知等で啓発しているが、団塊の世代の退職や高度医療の発展により抑制が難しい。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

医療を受けることを制限することは難しいが、医療費通知やジェネリック医薬品等の啓発をしたい。

23年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

保健事業 他

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

重複、多受診の防止、ジェネリック医薬品等の促進や、特定健康診査の実施方法改善により医療費の適正化に努める。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択